

- 問1 明治時代初期、群馬県に設立された官営模範工場では、多くの女性たちが並んで座り、機械を用いて生糸を紡ぐ作業に従事していました。この工場や当時の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- 民間企業が経営し、深夜営業を含む過酷な労働環境によって綿糸の輸出量を飛躍的に増大させた。
 - 周辺地域で大規模な鉱毒事件が発生し、田中正造がその被害を訴えて議会で政府の責任を追及した。
 - 全国から集まった土族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。
 - 日清戦争の賠償金をもとに建設され、鉄鋼の国産化を実現することで日本の重工業の発展を支えた。
- 問2 明治初期に行われた殖産興業政策の目的と、その具体的な進め方について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- 江戸時代の封建的な仕組みを維持しながら、伝統的な家内制手工業を全国に普及させることで経済の安定を図った。
 - 欧米の優れた技術を取り入れるためにお雇い外国人を招き、政府が自ら工場を建設・運営することで近代産業の育成を目指した。
 - 都市部における欧米風の生活様式の普及を最優先し、鉄道の敷設や郵便制度の整備のみを産業振興の手段とした。
 - 外国からの製品輸入を制限するために高い関税をかけ、国内の農業生産を拡大させることで食料自給率の向上を目指した。
- 問3 明治政府が強力な中央集権国家を樹立するために1871年に行った改革について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、身分に関わらず国民皆兵の軍隊を組織した。
 - 旧藩主が土地と人民を天皇に返還し、引き続きその土地の知藩事として統治を続けるようにした。
 - 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価の3%を現金で納めさせるようにした。
 - 全国の藩を廃止して県を置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。
- 問4 日本の近代外交史において、1873年に朝鮮への使節派遣をめぐる征韓論の争いに敗れて政府を去り、その後故郷の鹿児島を中心として活動した人物は誰か。 (2024年 青森県公立入試 類似)
- 木戸孝允
 - 西郷隆盛
 - 板垣退助
 - 大久保利通
- 問5 地租改正の実施に際して発行された「地券」と、それに基づく納税のルールについて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
- 土地の所有権を認める地券が交付された土地の所有者が、納税義務者となった
 - 実際に田畑を耕している小作人が、収穫した米の30%を地主の代わりに政府へ納めた
 - 土地の広さに応じて地券が発行され、江戸時代と同様に村単位で連帯して米を納めた
 - 地券を持つ地主は、輸出入の総額に応じた税金を毎年異なる割合で現金納付した
- 問6 明治政府が地租改正を実施した際、土地の所有権を公的に認め、納税義務を明確にするために土地所有者に対して発行した証書を何といいますか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- 公地公民
 - 版籍奉還
 - 地券
 - 株仲間
- 問7 明治時代初期、政府による近代化政策にともない、欧米の文化や制度が積極的に取り入れられました。これによって、都市を中心に伝統的な生活様式が急速に西洋風へと変化した社会現象を何と呼びますか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- 殖産興業
 - 文明開化
 - 大正デモクラシー
 - 富国強兵
- 問8 明治政府が地租改正を実施し、納税の方法を従来の「収穫量に応じた物納」から「地価に応じた現金での納付」に変更した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 天候による豊作や不作に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため
 - 地価を意図的に低く設定することで、農民の税負担を江戸時代より大幅に減らすため
 - 農村での米の流通を制限し、都市部での工業化に必要な労働力を確保するため
 - 土地の売買を厳しく制限し、江戸時代から続く封建的な土地制度を維持するため
- 問9 1873年に始まった地租改正では、当初、地租の税率は地価の3パーセントと定められていました。しかし、1877年に政府はこの税率を2.5パーセントに引き下げました。この措置が取られた政治的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不满を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。
 - 納税方法を従来の物納から金納へと変更したことで、政府の税収が予想を大幅に上回ったため、余剰分を国民に還元することにした。
 - 徴兵令の施行によって農村の労働力が減少したため、その補償として税負担を軽減し、農業生産力を維持することが目的であった。
 - 欧米視察から帰国した岩倉使節団が、諸外国の税率に合わせるよう提言したため、国際基準に基づき税率の調整が行われた。
- 問10 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。
 - 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。
 - 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。
 - 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。
- 問11 明治新政府が発表した基本方針である五箇条の御誓文の第一条には、「広ク（X）ヲ興シ、万機（Y）ニ決スベシ」という一節があります。当時の史料に基づき、空欄（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- X：政党、Y：国会
 - X：会議、Y：公論
 - X：民撰議院、Y：選挙
 - X：文明、Y：教育
- 問12 1872年の制度公布後、長野県の旧中込学校のように、洋風の塔を持つ木造の学校建築が各地で建設された。この制度に基づき、政府が全国に最も優先して設置を進めた教育機関はどれか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- 工部大学校
 - 藩校
 - 師範学校
 - 小学校
- 問13 明治政府が1873年から実施した地租改正において定められた、租税の基準とその納入方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- 地価を基準とし、現金で納める
 - 収穫量を基準とし、米などの現物で納める
 - 地価を基準とし、米などの現物で納める
 - 収穫量を基準とし、現金で納める